

初代県令楢取素彦と文、ゆかりの歴史的建造物

前橋市文化スポーツ観光部参事 手島 仁

はじめに

1、献上写真にみる「ゆかりの歴史的建造物」

○明治11年、群馬県令・楢取素彦が明治天皇に献上（原資料は宮内庁書陵部所蔵）

○明治11年巡幸。8月30日～11月9日。埼玉・群馬・長野・新潟・富山・石川・福井・滋賀・京都・岐阜・愛知・静岡・神奈川の府県。岩倉具視（右大臣）・大隈重信（参議）・品川弥二郎（内務大書記官）らが随行。

9月2日 埼玉県から新町行在所着

9月3日 新町屑糸紡績所／高崎区務所（昼餐）／前橋の生糸改所（行在所）着

9月4日 県庁／師範学校／坐繰製糸場／精糸原社／高崎区務所（行在所）着

9月5日 高崎営所（兵舎巡覧・観兵式・操練）／松井田警察署（行在所）着

9月6日 碓氷峠／熊野神社を経て長野県へ

『明治天皇紀』には、9月4日に楢取県令から「上野国（群馬県）名勝写真七十五枚」が献上されたことが記されている。

2、ドラマの制作とその意図

3、吉田松陰の二人の妹、楢取素彦の二人の妻

4、県令楢取素彦—県民の慈父・悲母—

おわりに